

## 第8回桜井市地域ブランド認定推進委員会 会議録 (要約)

開催日時	平成28年2月22日(月) 午後1時半～2時30分
場所	桜井市中央公民館 2階 研修室1
出席者	(委員) ト部能尚氏(桜井市商工会)、林勤氏(桜井市観光協会)、麻生憲一氏(奈良県立大学)、岩城啓子氏(畿央大学)、渡邊寛之氏(奈良県中部農林振興事務所)、テリー植田氏 (事務局) 清水孝夫(まちづくり部長)、西川昌秀(まちづくり部次長)、青木浩之(観光まちづくり課長)、山内篤生(観光まちづくり課まちづくり戦略係長)、後藤聖子(観光まちづくり課まちづくり戦略係主任)
取材及び傍聴	なし
司会	ただ今より第8回ブランド認定推進委員会を開催する。ご多忙の中ご出席を賜り感謝する。本日は堀井委員長、仲出委員、谷奥委員がご欠席である。議事進行をト部副委員長にお願いしたい。
ト部副委員長	では次第1「プロモーションイベント報告について」事務局より説明願う。
事務局	資料1について、奈良まほろば館において1月28日から2月9日まで実施した「さくらの魅力再発見!～大和さくらブランド認定品はコレだ!～」について説明。
ト部副委員長	テリー委員よりもなにかあればお話いただきたい。
テリー委員	桜井に関して初めてトークイベントを実施した。参加者は皆桜井に来たことがあり、さまざまな名所をよくご存知であった。年代は50代、60代、70代の男女で、こういった方々が後に桜井に移住してくれるようになるのではないかと思った。イベント終了後もそうめんについて質問が出たり、1階の販売コーナーもにぎわっていたので、東京でのプロモーションの可能性を感じた。
林委員	こうしたイベントに参加いただく方が桜井を訪れるリピーターになっていたと、全体的な宣伝にもなり大変よいと思う。
ト部副委員長	認定品等の展示のみで、販売はされなかったのか。
事務局	一部を除き、販売も行った。
ト部副委員長	他にご意見があればおっしゃっていただきたい。 無いようであるので、次第2「来年度事業について」事務局より説明願う。
事務局	資料2「平成28年度桜井市地域ブランド認定推進事業案」および資料3「平成28年度スケジュール」について説明。
ト部副委員長	想定される一次製品のイチゴなどには旬があり、甘さも変わるなどとも聞く。
事務局	今のところ12月～1月ごろが旬とお聞きしている。また審査時期等についてはご相談させていただきたい。

麻生委員	委員会の役割として、まず認定審査があると思うが、「プロモーションに関する意思決定」について、どの範囲まで委員会が担うことになるのか、がわかりづらい。プロモーションというものは重要な役割を持つと思うので、どういったことを委員会の中で決めていくのかを検討いただきたい。
事務局	本日は、来年度の予定とのことで案をお示ししたが、麻生委員よりご指摘があったようにどの部分を委員の皆様にお考えいただくのかを事務局で整理させていただき次回会議で案としてお示ししたいと考えている。 また、麻生委員のほうでご意見があればお聞かせいただきたい。
麻生委員	例えば大学機関等と連携するなど、色々な方法がある。ただイベントに出展する、ということがプロモーションではないと思う。その中身については委員会の中で皆さんにご議論いただくことも必要かと思う。
ト部副委員長	先日、ト定祭があったが、現在三輪素麺の生産量は揖保の糸の10分の1程度しかないと聞く。
事務局	揖保の糸のシェアは全体の4割程度で、三輪素麺は9%程度である。以前は生産者と販売者が共になにかを行うということはあまりなかったが、一昨年夏に素麺消費量が落ち、生産過剰となり素麺が売れ残る事態が発生した。そこで奈良県も加わり、素麺の生産者、販売者が一体となって取り組みを始められた。桜井市としても「そうめんロード事業」や当ブランド認定事業などを実施することで、今後さらに地場産業の活性化に取り組みたいと考えている。
林委員	5月に全国そうめんサミットが兵庫県で開催されると聞く。そういった機会に大和さくらブランド認定についても話ができればよいだろうと思う。
事務局	なお、国の「地理的表示」のGIマークの取得予定は4月中旬～5月中旬となっている。当委員会ではその後に保留となっている素麺の審査を行えればと考えている。
麻生委員	当事業は認定で終わりではないと思う。地域ブランド事業とは地域認定品を「育てていく」という考え方で、地域を全国発信を行うことである。今回認定された方々から、この認定を受けることでどれだけの効果があるかということなどを常時意見聴取し、調査内容及び結果を出していくべきだと思う。当事業を継続的に続ける中で、ブランド認定されるメリットを生産者側が感じることも重要だと思う。こうしたメリットとは何かを明確にしないと、次回につながらない。そういった意味で、生産者に対する聞き取り等を常時行うべきである。こうしたことを事務局では念頭に置いていただきたい。
ト部副委員長	次第3その他の「次回委員会の日程について」を事務局より説明いただきたい。
事務局	さきほどお話に出た「そうめんサミット」及び「GIマークの取得」時期を考慮し調整すると、5月中旬以降で出席が可能な委員の皆様が一番多いのが5月19日(木)午後であるので、この日程で調整させていただき皆様にご連絡させていただく。なお、渡邊委員様が3月末で退職されるに伴い、本委員会へのご出席が本日で最後となるためお言葉をいただきたい。

渡邊委員	桜井の歴史は大変古く、さまざまな物産や観光資源があるので、プロモーションと同時に中身を充実させるために当事業をされていると思う。私は地域資源の「掘り起こし」が重要だと認識しており、私の所属する中部農林事務所においても、小麦の生産拡大をはかることで素麺の製造を行いたいとの思いを持って取り組んでいる。できるだけこうした「掘り起こし」を進めていってもらえたらと思っている。本委員会ではいろいろとお世話になり感謝したい。
ト部副委員	渡邊委員にはこれまでご協力をいただき感謝申し上げます。 これにて閉会とする。